

令和3年度 自治体DX推進事業 デジタル技術、ICT技術の活用

現状と課題

デジタルファーストの実現に向けさまざまな取組が社会的には急速に進んでいるが、当市では行政のICT化が進んでいるとは言えず、他市と比較しても遅れている。

効果、目指す姿 ICT技術の活用による

いつでも、どこからでもアクセスしやすい近江八幡市役所

取組み概要

スマート自治体滋賀モデル研究会の令和2年度の共同研究による取組結果として、各システムを県内市町と合わせて共同導入する。

取組み①

【手続きガイド】の導入

オンライン上で簡単な質問に答えることにより、手続きに必要なものや場所、オンライン申請等への案内が表示される。案内の種類は「転入」「結婚」等ライフイベントに関するもの。

取組み②

【オンライン申請システム】の導入

職員採用試験、上下水道開始休止、環境課業務に関する申請等、徐々に申請数を拡大

取組み③

【LINE公式アカウント/拡張ツールLiny】の導入

属性に合わせた情報発信が可能。上記①②にたどり着ける動線を確保。

取組み④

【LOGOチャット】の導入

行政専用回線上で利用できるコミュニケーションツール。他自治体とのコミュニケーションも可能。会議時間の短縮、所属を超えた業務のやりとり等がスムーズに。

